

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	3	利用者が何を求めているかの視点での検討が十分とは言えないため、今後は利用者のケアに取り組んで欲しい。	利用者の普段発揮されない隠れてる力を見出し、それを個々の生活に取り入れ、その人らしい暮らしが送れるよう支援する。	本人の意思は勿論のこと、意思表示の不十分な多くの利用者のご家族の意向確認のみでなく、個々の普段の行動パターンや意向等から、各人の能力の再発見とそれを生活に結びつけるケアに取り組む。	12 か月	利用者全員に各担当を備け、持てる力発見シートを配布しケアに結びつける。
2	14 .15	レクや家事など職員が行うことが多いと評価された、利用者が自主的に取り組める機会を増やし、見守りを多くする支援に努めてほしい。 洗濯物をたたんだり、文化祭に生け花を出品したりしているが、一部の利用者に限られているため、利用者一人一人の可能性を引き出し、ふさわしい出番や役割が見付けられるよう努めてほしい。				
3	13	重度の利用者も含め全員が散歩しているが、機会があまりにも物足りなさを感じるので、外出の機会を増やし、利用者の気分転換のに繋がるよう努めて欲しい。	外出の機会を増やし、利用者の気分転換や地域との関わりを図り、顔なじみの暮らしを支援する。	ふる里訪問等を計画し、各利用者の思い出の場所の訪問に取り組む。慢性的なボランティア不足から、近隣サークルの応援をえて、共同での散歩や運動に取り組む。	12 か月	ふる里訪問等を計画し、各利用者の思い出の場所訪問を実施する。
4	49 50	評価結果等は運営推進会議に報告しているが、家族等参加者にモニターを依頼まで至っていない。 地域防災訓練に参加するなど連携も取れ、地域からも一定の評価が得られているが、家族は一部の人の理解を得られている程度で、あるため、緊急災害時における支援体制の理解下得られるよう、家族全員と話し合う機会を儲ける取り組みが望まれる。	家族会の充実を図る。	家族会の会則を設けて、会長を選任し定期開催をするよう取り組む。地域の消防団等の協力を得て緊急時の支援体制を確認する。	12 か月	家族会の組織の充実を図る。(地元世話役による家族会の定期開催をする。)
5	51	事業所が相談できる場であることが、地域に伝わっていない、事業所をPRし地域の相談ニーズの集約に努めてほしい。地域包括支援センターの地域ケア会議や祭りや文化祭に参加するなど地域との連携は取れているが、地域と連携したイベント等の実施には至っていない。積極的な取り組みが望まれる。	地域の保育園や幼稚園と学校との交流を図る。	認知症相談所としてのパンフレットを配布する。グループとして月祭りを開催し地元住民や家族との交流に取り組む。認定保育園や学校との交流を持つことにより、老人は幼児の無邪気さを、幼児は老人の優しさ、お互いに感じてもらうよう取り組む。	12 か月	近隣の集会書等に相談のパンフレットを設置する。福祉避難所として、市に登録申請する。

注1) 項目番号の欄については、自己評価項目のNo.及び小項目のアルファベットを記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。